

# 製剤マニュアル

( 保険薬局向け )

済生会松山病院 薬剤部

Ver1.0

## 目 次

【塩酸バンコマイシンシロップ】	3
【アズノール含嗽液】	4
【0.01%アズノールグリセリン】	5
【アスピリン含嗽液】	6
【吸入A】	7
【ポビドンヨード・生食耳科用液】	8
【0.05%ナシビン点鼻液】	9
【0.05%プリビナ点鼻液】	10
【質問・確認事項一覧 2017年1月10日更新】	11

この保険薬局向製剤マニュアルは、済生会松山病院薬剤部で用いられていた院内製剤内規を基に追記改訂をしております。内容を参考にさせていただき、実際には各保険薬局の製剤方法で構いません。

今までの病院でのやり方を知っていただき、対応をお願い致します。保険薬局で製剤された薬に患者様が不安や不信を感じることをのないよう丁寧な説明をお願い致します。

この内容は、随時更新修正する場合があります。

## 塩酸バンコマイシンシロップ

処方	<p>1 回分の服用量 10mL(内単シロップ2mL とする)になるよう調整</p> <p>【オーダー表示例】</p> <p>Rp) 塩酸バンコマイシン散(0.5g/V) 1 V          単シロップ 8 mL          1日4回 朝・昼・夕食後と寝る前 7日分</p>
使用薬剤規格	塩酸バンコマイシン散(0.5g/V、小林化工)、単シロップ(丸石、局方品)、
調製法	<p>①水薬投薬瓶に単シロップ全量を入れておく。</p> <p>②塩酸バンコマイシン散1Vあたり約5mL の水道水で溶解し、          水薬投薬瓶に入れる。</p> <p>③総量を水道水で調節し、よく混ぜる。</p>
容器	水薬投薬瓶
貯法	室温保存
有効期限	用時調製 (調製後7日間)
供用先	外来及び入院患者
適応	偽膜性大腸炎、MRSA 腸炎
用法・用量	成人 1日 VCM 0.5~2.0g 1回10mL
備考	有効期限が短い為、処方日数は7日分まで

## アズノール含嗽液(4%キシロカイン「外用」含有)

処方	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">アズノールST錠5mg</td> <td>10錠</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">4%キシロカイン液</td> <td>5mL</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">蒸留水</td> <td>500mL</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">全量505mL</td> </tr> </table>	アズノールST錠5mg	10錠	4%キシロカイン液	5mL	蒸留水	500mL	全量505mL	
アズノールST錠5mg	10錠								
4%キシロカイン液	5mL								
蒸留水	500mL								
全量505mL									
使用薬剤規格	<p>アズノールST錠5mg(アズレンスルホン酸ナトリウム、日本新薬)、</p> <p>4%キシロカイン液「外用」(塩酸ロカイン、アストラゼネカ)、</p> <p>注射用蒸留水(細口開栓、大塚、局方品)</p>								
調製法	<p>①アズノールST錠5mg10錠をビーカーに入れ蒸留水適量にて溶解し、500mL 褐色ポリ瓶に入れる。(綿栓ろ過はしなくてよい。)</p> <p>②4%キシロカイン液「外用」5mL を20mL シリンジ(針18G)で入れ、残りの蒸留水を加え、よく振り混ぜる。</p>								
容器	500mL 褐色ポリ瓶								
貯法	室温保存								
有効期限	用時調整								
供用先	外来及び入院患者								
適応	口内炎								
用法・用量	1日3回 1回30～50mL								
備考	* 計量カップを付ける。								

## 0.01%アズノールグリセリン

処方	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">アズノールST錠5mg</td> <td>1錠</td> </tr> <tr> <td>蒸留水</td> <td>5mL</td> </tr> <tr> <td>グリセリン</td> <td>95mL</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; border-top: 1px solid black;">全量100mL</td> </tr> </table>	アズノールST錠5mg	1錠	蒸留水	5mL	グリセリン	95mL	全量100mL	
アズノールST錠5mg	1錠								
蒸留水	5mL								
グリセリン	95mL								
全量100mL									
使用薬剤規格	アズノールST錠5mg(アズレンスルホン酸ナトリウム、日本新薬)、 グリセリン(丸石、局方品)、注射用蒸留水(大塚、局方品)								
調製法	<p>①アズノールST錠5mg1錠を、ビーカーに入れ蒸留水5mLにて溶解し、 綿栓にてろ過*する。(*:漏斗に綿花を詰めて濾過する)</p> <p>②グリセリン95mLを加えて全量100mLとする。</p>								
容器	褐色ポリ容器 (院内保管用)								
貯法	遮光、室温保存								
有効期限	調製後6ヶ月								
供用先	外来及び入院患者								
適応	口内炎、驚口瘡、舌炎								
用法・用量	1日数回 患部に適量塗布								
備考	患者交付は、25mLの倍数で処方される。								

## アスピリン含嗽液

処方	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>生理食塩液</td> <td style="text-align: right;">500mL</td> </tr> <tr> <td>炭酸水素ナトリウム</td> <td style="text-align: right;">2g</td> </tr> <tr> <td>アスピリン</td> <td style="text-align: right;">2g</td> </tr> <tr> <td>AZ 細粒</td> <td style="text-align: right;">8g (=4包)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">全量 500mL</td> </tr> </table>	生理食塩液	500mL	炭酸水素ナトリウム	2g	アスピリン	2g	AZ 細粒	8g (=4包)	全量 500mL	
生理食塩液	500mL										
炭酸水素ナトリウム	2g										
アスピリン	2g										
AZ 細粒	8g (=4包)										
全量 500mL											
使用薬剤規格	生理食塩液(細口開栓、大塚、局方品)、炭酸水素ナトリウム(丸石、局方品)、アスピリン(ヨシダ、局方品)、AZ 含嗽用配合細粒「NP」(ニプロ)										
調製法	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 白色水薬瓶500mLに生食適量と炭酸水素ナトリウム2gを入れ、溶解する。</li> <li>② 炭酸水素ナトリウム溶解後、アスピリン2gを入れ、溶けるまでよく振る。</li> <li>③ アスピリン溶解後、残りの生食とAZ 細粒8gを入れ混和する。</li> </ol>										
容器	水薬投薬瓶500mL										
貯法	冷所保存										
有効期限	用時作成 (調製後2週間)										
供用先	循環器内科、内科										
適応	風邪症候群における喉の痛みの治療										
用法・用量	1日3回毎食前、1回50mL～60mLでうがいをする。うがいをしたときに喉の痛みがある場合は、含嗽量を倍量に薄めて使用する。										
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>* アスピリン2g及び炭酸水素ナトリウム2gは予製してある。</li> <li>* アスピリンは水に溶けにくく、炭酸水素ナトリウム試薬には溶けやすい。</li> </ul>										

## 吸入A

処方	<p>(1回分での薬剤割合)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">メプチン吸入ユニット0.01%(メプチン吸入液)</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">0.5mL(1本)</td> </tr> <tr> <td>ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」</td> <td style="text-align: right;">2mL</td> </tr> <tr> <td>生理食塩液</td> <td style="text-align: right;">3mL</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">全量 5.5mL(1回分)</td> </tr> </table> <p>【注意】吸入回数と投与日数により総投与量は変わります。</p>	メプチン吸入ユニット0.01%(メプチン吸入液)	0.5mL(1本)	ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」	2mL	生理食塩液	3mL	全量 5.5mL(1回分)	
メプチン吸入ユニット0.01%(メプチン吸入液)	0.5mL(1本)								
ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」	2mL								
生理食塩液	3mL								
全量 5.5mL(1回分)									
使用薬剤規格	<p>メプチン吸入ユニット0.01%(or メプチン吸入液0.01%)(塩酸プロロテロール、大塚)          ブロムヘキシン塩酸塩吸入液0.2%「タイヨー」:(塩酸ブロムヘキシン、大洋薬品)、          生理食塩液(大塚、局方品)</p>								
調製法	<p>処方回数、日数に基づいて、必要な薬剤を計量混合する。          (処方日数によって、混合可能な薬剤が変わってくるので注意する)</p>								
容器	外用投薬瓶								
貯法	室温保存								
有効期限	<p>7日分まで →メプチン、ブロムヘキシン、生食 全て混合          ※原則、外来患者ではメプチン吸入ユニットを使用している。          メプチン吸入ユニットは、混合調整せずユニットのまま交付している。          14日分まで →メプチンのみ単独、ブロムヘキシンと生食は混合          15日以上 →いずれも混合せず、単剤で交付</p>								
供用先	外来及び入院患者								
適応	気管支喘息、気管支炎								
用法・用量	1回5.5mL (1日1回、または、1日2回 の指示が多い)								
備考	ネプライザーを使用して吸入する								

## ポビドンヨード・生食耳科用液

処方	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">           1%ポビドンヨード・生食耳科溶液            ポピヨドン液10% 1mL            生理食塩液 10mL         </td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">           2%ポビドンヨード・生食耳科溶液            ポピヨドン液10% 1mL            生理食塩液 5mL         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">全量11mL</td> <td style="text-align: center;">全量6mL</td> </tr> </table> <p>【注意】総投与量は医師の指示によって変わります。</p>	1%ポビドンヨード・生食耳科溶液 ポピヨドン液10% 1mL 生理食塩液 10mL	2%ポビドンヨード・生食耳科溶液 ポピヨドン液10% 1mL 生理食塩液 5mL	全量11mL	全量6mL
1%ポビドンヨード・生食耳科溶液 ポピヨドン液10% 1mL 生理食塩液 10mL	2%ポビドンヨード・生食耳科溶液 ポピヨドン液10% 1mL 生理食塩液 5mL				
全量11mL	全量6mL				
使用薬剤規格	ポピヨドン液10%(ヨシダ製薬)、生理食塩液(大塚、局方品)				
調製法	<p>(1%ポビドンヨード・生食耳科溶液 の場合)</p> <p>20mL シリンジ(針18G)に10%Jヨード液1mLと生食10mLをとり、 5mL 褐色点眼瓶2本に分注する。</p> <p>以上の調整をクリーンベンチ内で行う。</p>				
容器	5mL 褐色点眼瓶 (処方によって、交付する総量・総本数は変わる)				
貯法	室温保存				
有効期限	用時調製 3ヶ月				
供用先	外来及び入院患者(耳鼻科)				
適応	消毒				
用法・用量					
備考	初めての人にはタリビット耳科用液の点耳のやり方の説明書を付ける。				



## 0.05%ナシビン点鼻液

処方	0.05%ナシビン5mL/1瓶
使用薬剤規格	0.05%ナシビン(塩酸オキシメタゾン、中外)
調製法	クリーンベンチ内で、0.22 $\mu$ mフィルター(医療用マイルクスGV)を用いて、 ナシビンを5mL ずつ5mL 褐色点眼瓶に分注する。
容器	5mL 褐色点眼瓶
貯法	室温保存
有効期限	
供用先	外来及び入院患者
適応	上気道諸疾患の充血・うっ血
用法・用量	1日1~4回点鼻 1回2~3滴
備考	

## 0.05%プリビナ点鼻液

処方	0.05%プリビナ液 5mL/1瓶
使用薬剤規格	0.05%プリビナ液(硝酸ナファゾリン、ノバルティスファーマ)
調製法	クリーンベンチ内で、0.22 $\mu$ mフィルター(医療用マイルクスGV)を用いて、 0.05%プリビナ液を5mL ずつ5mL 褐色点眼瓶に分注する。
容器	5mL 褐色点眼瓶
貯法	室温保存
有効期限	
供用先	外来及び入院患者
適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上気道の諸疾患の充血・うっ血</li> <li>・上気道粘膜の表面麻酔時局麻薬の持続時間延長</li> </ul>
用法・用量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・局麻薬への添加: 1mL あたり2~4滴添加</li> <li>・鼻腔内: 1日数回点鼻 1回2~4滴</li> <li>・咽頭・喉頭: 1日数回塗布又は噴霧 1回1~2mL</li> </ul>

頁・製剤名	質問・確認事項	回答・変更点
4 頁・アズノール含嗽液	キシロカイン液は査定されない？	病院では査定対象とはなっていない
4 頁・アズノール含嗽液 5 頁・アズノールグリセリン	アズノール S T錠は、液剤「アズノールうがい液 4%」で代用できないか？ S T錠 10 T 50m g → うがい液 1.25ml 注射用蒸留水 → 滅菌精製水（外用）で代用できないか？	各施設採用の同成分薬で対応は可能。 但し、処方せん表示は院内採用品目となるため、必要に応じて疑義照会してください。
6 頁・アスピリン含嗽液	A Z 細粒 → ハチアズレでも OK？（内容は同じ物）	各施設採用の同成分薬で対応は可能。 但し、処方せん表示は院内採用品目となるため、必要に応じて疑義照会してください。
8、9、10 頁・ 点耳、点鼻液	クリーンベンチのない薬局が多い。	クリーンベンチを使用しなくてもよい
8 頁・ポビドンヨード耳科用生食液	調整時にシリンジの使用が必要か？	各施設が対応できる器具で調整してください。
8 頁・ポビドンヨード耳科用生食液	合計 6ml → 5ml 2 本に分注？ 10ml 1 本はダメ？	当院では 6mL を 5mL 容器（予備容量あり）1 本に分注している。 患者に説明いただければ、各施設によって、容器サイズ変更は可。
8 頁・ポビドンヨード耳科用生食液	1% と 2% の使い分けは？	1% と 2% の使い分けは、医師の判断にて実施（薬剤部では把握していない）
9、10 頁・ナシビン点鼻液、 プリビナ点鼻液	マイクレス GV が必要か？ 外来患者では、単に点眼瓶への分注ではだめか	・マイクレス GV 使用せず、単に点眼瓶へ分注でもよい。
9 頁・ナシビン点鼻液	コールタイジン点鼻液で代用できないか？ 15ml 容器入り（薬価 8.70 → ￥130.50/本）（料金は高くなるのが難点。）	院内コールタイジン採用ないため、変更不可。
10 頁・プリビナ点鼻液	ナシビンとの使い分けは？	ナシビンとの使い分けは医師の判断。患者の希望等。
3 項	塩酸バンコマイシンシロップは、水薬採用瓶の 500ml にて調整し、1 回 10ml の計量カップをつけるという事でよいか？	その通り （患者さんに理解いただければ、投薬瓶容量は 500mL でなくても結構です）

7 項	<p>吸入 A について</p> <p>14 日分までは、ブロムヘキシ ン、生食を混合して渡す。 15 日分以降の処方、全て混合 せず渡し、患者さんに吸入時 に混合してもらおう。どの考え 方でよいか？</p> <p>計量は、患者さんにシリンジ などを渡し、行ってもらって いるのか？</p>	<p>その通り</p> <p>吸入 A を使用される患者さん は、ネブライザー使用され るので、計量用具はお持ちだ と思われます。院内薬剤部で 交付することはありません。 カップやスポイトを希望さ る場合は、採用医薬品（リフ オロースシロップなど）の付 属品をお分けしていました。</p>
-----	---	--